

サトイモ科

ハリマサムシグサ

Arisaema minus (Seriz.) J.Murata

兵庫県ランク… B

環境省ランク… VU

■ 県内分布

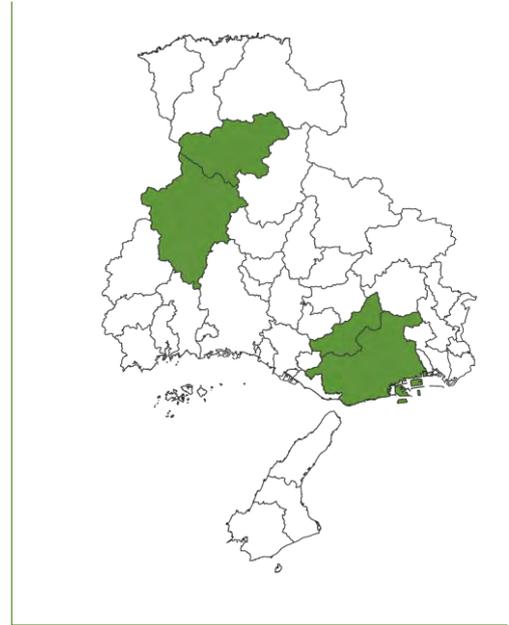
神戸市、三木市、宍粟市、養父市

■ 国内分布

本州(兵庫県)

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性	
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布	○
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界	○
		希少	○



■ 特記事項

兵庫県固有種。



写真提供:松岡成久

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

丘陵地から山地の林下に生える。早咲きのテンナンショウに属する。葉は通常2個、小葉は5-9枚で葉軸はあまり発達しない。偽茎が通常全高の1/2ほどと背丈が低い場合が多い。仏炎苞は葉に先駆けて展開する。花期は3月下旬から4月。仏炎苞は緑がかった紫褐色であるが、舷部が半透明で指が透けて見えるという著しい特徴をもつ。